

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和8年8月31日 (第1回)
目標年度	令和15年度
市町村名 (市町村コード)	明和町 244422
地域名 (地域内農業集落名)	大淀 (大淀、山大淀、大淀甲、大淀乙、大堀川新田)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	310.9 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	243.9 ha
② 田の面積	169.0 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	33.0 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	10.8 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	105.7 ha
(参考)区域内における65才以上の農業者の農地面積の合計	44.1 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
(備考)・⑤に関しては、規模拡大意向のある各耕作者の経営形態や規模等を考慮して定めた10年後の見込み増加率をもとに算出しました。 ・本計画で使用している数値は、令和8年1月時点のものです。	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

この地域は、基盤整備が進んでいないこと等により地域外の個人及び法人の担い手の進出が少ないことから、主に地元の担い手及び個人農家により営農されています。このうち、65歳以上の耕作者は299名(約44.1ha)であり、地域全体(463名)の約65%にあたる耕作者が10年以内に75歳以上の高齢者となります。このため、今後10年以内に健康面、年齢面、設備故障等による理由で離農が進むことが予想され、早急に現行担い手の営農拡大及び地域内外からの新たな担い手確保等が課題となっています。

また、畑地が1094筆(約33.0ha)と多くなか、1筆500㎡以上の畑は約28.4ha(872筆)である一方で小さい畑地は約4.6ha(222筆)と、1筆が小さい畑地が多いことに加え、個人の地権者も360名と多いことにより、畑地の貸付や集約化が難しい課題となっています。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

水田については、新たな担い手の確保を目指しつつ、目標地図に色付けされた近隣の担い手に集積していくこととします。

畑地については、地権者の高齢化が進むなかで後継者不足による畑地の荒廃化の防止が課題となっています。対応として、地元農業者による小規模畑地の団地化を行い担い手に任せること等が考えられます。

また、担い手不足解消の為、一定規模以上の担い手誘致や複数の個人担い手間でお互いに助け合う組織をつくる事等により、経営規模拡大や経営の安定化を進め、相互協力により経営継続が可能となる様な取り組みが必要です。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針

今後離農が発生する場合は、可能な限り目標地図で色付けされた近隣の担い手に集積することで、担い手の効率化及び生産性の向上を進める方針とします。

(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標

現状の集積率	41.3	%	将来の目標とする集積率	43.3	%
--------	------	---	-------------	------	---

(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標

農地の集積が進んだ段階で、順次集約化を行うこととします。

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
耕作できる農業者には、可能な限り継続して営農してもらうことを基本とします。また、やむなく離農する際には、目標地図で色付けされた近隣の担い手に集積することで、団地化及び集約化を行います。
(2)農地中間管理機構の活用方法
従来の利用権設定が満期となった場合又は新たな賃借契約が発生した場合は、中間管理事業を活用することとします。
(3)基盤整備事業への取組
担い手への集約化の進展が見えた段階で、畦畔除去、水路の整備及び農道整備を順次検討します。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
町・県・JAと連携し新規就農者の確保に努めます。また、機構を通して、県内・県外の担い手の誘致も行っていきます。その際には、誘致地区を明確に切り分けることとします。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業体等への農作業委託の取組

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☐	①鳥獣被害防止対策	☐	②有機・減農薬・減肥料	☐	③スマート農業	☐	④輸出	☐	⑤果樹等
☐	⑥燃料・資源作物等	☐	⑦保全・管理等	☐	⑧農業用施設	☐	⑨その他		

【選択した上記の取組内容】

--

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性		農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 17 年度)					
			経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地 図上の 表示	備考	
認定		A	主穀・豆類	30.9	ha	主穀・豆類	37.0	ha		拡大	
認定		B	主穀	15.7	ha	主穀	15.7	ha		維持	
認定		C	主穀	14.7	ha	主穀	14.7	ha		維持	
認定		D	主穀	10.8	ha	主穀	13.0	ha		拡大	
認定	法人	E	主穀	13.2	ha	主穀	13.2	ha		維持	
認定		F	主穀	3.9	ha	主穀	0.0	ha		離農	
認定		G	主穀	4.5	ha	主穀	4.5	ha		維持	
認定		H	主穀	3.0	ha	主穀	2.1	ha		縮小	
認定	法人	I	主穀・豆類	0.8	ha	主穀・豆類	1.2	ha		拡大	
認定	法人	J	主穀	1.4	ha	主穀	2.1	ha		拡大	
認定	法人	K	主穀	0.9	ha	主穀	1.3	ha		拡大	
認定		L	主穀	0.3	ha	主穀	0.3	ha		維持	
認定		M	主穀	0.3	ha	主穀	0.2	ha		縮小	
認定	法人	N	主穀	0.1	ha	主穀	0.2	ha		拡大	
認定	法人	O	主穀	0.1	ha	主穀	0.1	ha		維持	
計		15経営体		100.7	ha		105.7	ha			

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。